婦人と新社會

山田わか主筆

九月號

ブルジョアとプロレタリアとは異つた種類の人間か？

英獨佛倫理思想の歴史的研究

倫理學は英國特有のもの＝佛獨における倫理思想の萌芽＝倫理思想を醸造する環境＝秩序と革命＝獨逸思想の環境＝自由研究の精神と倫理の基礎＝英佛獨と日本

化粧術教育化の提唱

——編輯の後——

大正十四年八月廿三日印刷納本

每月一回一日發行　第六十六號　大正十四年九月一日發行

東京婦人と新社會出版部發行

ブルジョアとプロレタリアとは異つた種類の人間か？

共產主義者や國事犯者のうちには個人的に交際して見ると非常に善良な律儀者があります。さう云ふ種類の人々とは反對側の人々のうちに多くの不良、不正直者があるに反して。
本質的には律儀者でありながら過激主義者になる原因は一を知つて二を知らないからです。所謂ブルジョアなる者とプロレタリアなる者とは果して 彼等過激主義者が云ふように異つた種類の人間であるでせうか。
ブルジョアとプロレタリアとの異ひは本當に僅かで、共通點の方が遙かに多いのです。にも拘らず、多い方の共通點を忘れて僅かの方の差を見て其れを全部であるかのように考へる處に恐ろしい誤解が不幸が生ずるばかりで、從つて、成功はしません。もし、成功したとすれば其れは以前の狀態に歸つただけで、唯少數の人々の位置が變つただけ、つまり、資本家と云ふものの代りに幹部が出來ただけで、大衆のためには何等の變りがありません。
變りがないだけならまだいいが惡くなつてゐます。たとへば、露國ではシベリアへ罪人を送ることはしなくなつても詐欺、盜み、淫賣、生活難は益に倍してゐます。
一部を見て他の大部分を忘れるか 無視するのは困つたことであると 云ふことに付てはエンゲル自身が云つてゐます。
「唯物史觀に從へば歷史を決定する要素は實際生活を完成するものであると、マルクスも自分も亦斷定した。併し、經濟が歷史を決定する唯一の要素であると人が曲解する時には、所謂唯物史觀は無意義な抽象的な矛盾した言葉となつてしまう。經濟狀態は凡てのものの基礎には相違ない。その基礎の上に政治、法律、哲學宗敎文學その外あらゆる文化の部門が設定されて、そして、それ等が歷史を決定するのである」（一八九五年に書いた手紙）

英獨佛倫理思想の歷史的研究

【倫理學は英國特有のもの】 もし、英國に特に英國のものとしての學問があるとすれば其れは倫理學であります。經濟學の先祖がアダムスミスであると云ふ理由で、經濟學の本家則ち經濟學の生れ場所は英國であると考へられてあるよりも より以上に、倫理學は英國の學問であると云ふ深い理由があるのです。

佛蘭西に於ける經濟學は佛蘭西の經濟狀態から暗示された問題にのみ 議論を限つてゐたのに反して、英國に於ける經濟學は倫理學の一部門乃至其の姉妹學として始まつたものであります。ですから、ツイ最近迄は、英國の哲學は主もに倫理哲學でありました。現代の認識論となり、猶後には心理學的研究の導火線となつたロックの非常に重要な研究ですらも、それは倫理問題の議論や解決の基礎を造らうとする慾望から刺戟を受けたものでした。さう云ふ風に、英國の思想界は常に哲學問題よりも倫理問題に傾いてゐたのです。

大陸に於ては、デカルトからロッツに迄形而上學が哲學の體系を結び付けてゐた 不斷の糸であつ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

たのですが、その形而上學は英國に於ては思想の問題を常に繼續的につゝないではゐなかつたのです。ベーコンの時代以來、英國人は形而上學からぬけ出して、そして、常識に歸つたことを誇りとしてゐました。かくして、倫理學は特に英國の思想であり、そして、大陸の思想の影響を最も受けなかつた英國思想の部門もやゝやはり倫理哲學であつたのです。

【獨佛に於ける倫理思想の萠芽】 併し、十九世紀の終りに當つては、倫理學は英國に於てのみならず、獨逸並びに佛蘭西に於ても哲學的論議の主もなる問題となりました。

獨逸に於ては、十八世紀の終りから十九世紀の始めにかけてキヤント、フヒテ、及び、シユライエルマツヘルにより倫理問題に關し大なる刺戟を受けたのでありますが、併し、それが又シエリング、ヘーゲル、及び、ヘルバルトの形而上學の體系の他排的勢力のために無勢力になつてしまいました。併し、それ等の形而上學の魅力が幻滅して、そして、哲學思想の分解が始まつた時、ハツキリと區別された二ツの興味が現れて來ました、そして、其の一つは認識論であつて則ちキヤントに歸つたわけであり、もう一つは實行哲學則ち倫理學であつて、そして、これは大なる程度に迄キヤントの立場を捨て、他國の思想、殊に、英國の思想の感化を受けるようになつたのです。この時に

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

當つて形而上學や宗教の學說からは獨立した新しい基礎を倫理學のために造らうと企てられました。

佛蘭西に於ては倫理哲學は十九世紀の後半すぎ迄は獨立の存在を持つてゐませんでした。此の問題が論議されるようになつたのは十九世紀の最終でありました。併し、それから以來佛蘭西は倫理學に關しては最も著名な獨創的な著述を出してゐます。

【倫理思想を醸造する環境】　かくの如くに倫理哲學は獨佛よりも英國にズット古くからあつたものであり、又、他の國とは全く異つた環境のうちに發生したものです。そして、この異つた環境と云ふことが倫理學の成長と發達に特長である或る性質を說明します。則ち、英國の倫理學を生み、そして、成長させた、その英國の環境が獨佛の環境から如何に異つてゐるかを研究して見ることは大いに興味ある問題です。

英國には王政復古以來の思想家の環境を云ひ現す一ッの言葉がありました。則ち、秩序と云ふ言葉です。猶、くわしく云ふならば、立憲政治によつて與へられた保證と云ふことです。で、この秩序を重んずると云ふ特長はそれぞれの人々によつて幾分かの度の違ひはあつても、併し、それが一

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

般であり、そして、今日に於ても猶それは有力です。

【秩序と革命】 英國には内亂もあつたし、又、一六八八年の革命もありました。けれども、それ等をも含めた過去三百年の間に英國に於ては この社會秩序なるものを根本的にくつがへしたと云ふようなことはなかつた。これに反して、他の國に於ては 此の秩序破壞と云ふことが行はれた。そして其の最もよき例となつてゐるものは 佛蘭西革命です。英國に於ては既成の正當な力を認め、社會的及び政治的の秩序と法律に對する尊敬があります。そして、教會や國家や 社會に如何なる變化があつても、秩序を重んずると云ふ氣風は殆ど常に一般的に英國には存在してゐました。

他の國に於て見るような革命の勃發を決して許さず、そして多くの社會改革運動の土臺となつた此の秩序に對する一般的な無言の尊敬は 英國の大抵の思想家の無言の或ひは明らかに云ひ表した信念でありました。則ち、宇宙間には自然の、倫理的の、社會的の秩序、或ひは、神の與へた 秩序と云ふものが存在すると云ふ信念は 全英國民を貫いてゐる信念です。其處で英國の倫理學はこの法則と秩序の性質と起原と維持の問題に答へようとするものです。そして、絶對に 新しい法律や秩序の土臺を造らうとはしなかつたのです。則ち、國家及び 社會を新らたに設定するなどとはしなかつた

のです。唯、最近、哲學的、則ち、合理的な信仰を實驗的に造ることを試みたことはありますが。
もし私共が十八世紀の終りに於ける佛蘭西の思想家の環境を英國のそれに對照して見るならば、かつて世界が見た最大なる政治的及び社會的の實驗の一つにつきあたります。則ち佛蘭西の革命がそれです。此の佛蘭西革命は凡ての社會的及び宗教的の目標を掃き去つてしまつて、そして全體の政治上のかたちを變へてしまいました。
宗教革命に先き立つた哲學派のうちに流行してゐたうすッぺらな倫理說や、高尙な社會秩序と云ふものに對する尊敬の感情を少しも持つてゐなかつたヘルベシアスやホルバハの快樂主義、又は、人間の威嚴を信仰する人道主義ですらもが、皆、新しい發達の萠芽を持つてはゐなかつた。又、ルソー、及び、佛蘭西革命の指導者中のルソーの弟子達の感情的の信仰則ち人の性は善なりと云ふ學說は凡ての社會的制限を取り去つた時にいはゆる人間性の善なるものが活躍して平和を招來すべき筈の代りに一般戰爭狀態が實際に這入つて來た時に、その信仰は虛と云ふ燒印を押されてしまいました。
そして、佛蘭西に於ては社會の復活の仕事がより深い倫理問題の研究よりもより重要なものとさ

れてゐました。かくして、反動が起り、そして、その反動は より古い形式に歸へらうとし、それと共にうすツぺらな折衷主義も這入つて來ました、つまり、それは 他國思想の輸入であつて、その思想の多くは佛蘭西の狀態には適してゐなかつたのです。

要するに、ド・ボーナルド、ド・マイストルが書いた反動的な議論やフーリエ 及びサンシモンの極端な社會主義の理論が現れたのは此の時代でありました。それ等の極端な 思想系統はどれも徹底的に論ぜられた哲學的歷史的乃至は心理的の基礎の上にのツかつてゐるのではない、從つて それらの思想は 眞の倫理哲學に何にもを貢獻しません。つまり、其れ等の思想は倫理問題を正視して解決を試みようとするものではなかつたのです。

【獨逸思想の環境】 十八世紀の後半の獨逸の狀態を調べて見るならば、英國及び佛國の狀態に似たものは 何にもありません。英國の場合に於ては社會の秩序と云ふものがありました。つまりそれが倫理學的考察の背景でありました。英國に於ては 此の秩序なるものは知力的に證明されたと云ふよりは、むしろ、先決問題となつてゐたのです。これに反して 獨逸に於てはあらゆる倫理の體系の根本的な假定の上に道理をあてはめようとする强き慾望を感じてゐました。故に、教會や傳統

の批准は、新教の宗教革命と古典的及び批評的の精神の成長によつてゆるんでしまひました。或ひは多くの場合に於て全くその勢力を失つてしまいました。

それから、又、英國に於ては躊躇的にまばらに現れた自由研究の精神が獨逸の思想家に對しては一大刺戟となり、一大勢力となりました。そして、此の自由研究の精神は、佛蘭西革命前後の佛蘭西一流の思想家の書いたものゝ特長である懷疑主義、むとんぢやく主義、輕薄主義の精神とはよき對照でありました。そして、此の自由研究の精神はルッーの望みをもつて滿ちた感情主義と同化し其處から平易な單純な基督教道德の基礎の上にのつてゐる國民教育の利益と信仰とを造り出しました。

實にこの教育運動は普通教育と大學教育の二つの獨立した部門に分れて、そして、信仰の新らしい精神と人間の進歩に對する希望が流れ出でた主もなる方向でありました。

【自由研究の精神と倫理の基礎】 倫理思想に關する範圍内に於ては、此の自由研究の精神は道德の形而上學的基礎及び過程に迄徹してゐました。勿論大抵の場合に於ては傳統的宗教の教へにはさからはない、むしろ、接近しようとするものでありました。唯、その上に道理の光りを投げ

たい。そして、默示を單獨な歷史的事實に限らないで、人間の進步と教育の必然な力として、考へたいとしてゐました。それから、ライプニッツの哲學から受けついだ調和に對する信仰、そして、それから起つて來る宗教的信仰のいろ〳〵の形式を、お互ひに讓步して妥協しようとする精神をも前述の議論の補充として置かなければなりません。

後に盛んになつた唯物主義と懷疑主義のより極端な形式、又、傳統的信仰に對する無制限な反感は獨逸のその當時の最善な文學のうちにはまだ現れてゐませんでした。つまり、佛蘭西の文學を通して輸入された範圍内に於ては、それ等はレッシングやメンデルゾンやヘルデルやゲーテのような獨逸一般思想の指導者の人道主義の精神とは相容れなかつたものであります。

こう云ふ風に十九世紀の終りに當つての全體としての歐洲思想界を倫理學の見地から、眺めるならば、英獨佛それぞれが獨立の、、、をもかげを呈してゐます。則ち、英國に於ては實際に存在してゐる道德的秩序の概念が重ぜられ、佛蘭西に於ては凡て存在してゐる秩序が破壞され、そして、獨逸に於ては無干涉の拘束のない自由精神が優勢であつたのです。

【英獨佛と日本】 以上はメルツの論斷してゐる處でありますが、これを要約すれば、英國は現在してゐる秩序を認めてそれを よりよくしようとする。たとへて見ると世界に存在してゐる金塊のようなもので、これは年々の採掘高に差はあつても 決して金の相場に狂ひが來ないと同じく、いろ〳〵の學說やいろ〳〵の思想が這入つて行つても 英國の秩序そのものには狂ひが來ません。もし、狂ひが來るとしても それは一般には感ぜられない程僅かなものです。そして、これが英國民はどんな大きな問題にぶつかつても、又は突飛な思想が這入つて來ても、外國人の豫想をうらぎつて 平然としてゐられる理由です。

けれども 獨逸は丁度風によつて左右される帆まへ船、或ひは、風見のようなもので、その時々の一番大きな風に支配されるように、その時々々々の國民に 最も歡迎される思想に支配されます。從つて國家的基礎としては 非常に薄弱です。つまり如何なる風をも乘りきる程の人物が現れて始めて獨逸は安定するものです。そして、これは科學的獨逸としては 餘まりに非科學的であります。

佛蘭西に付て云ふならば、何しろよくても惡くても佛蘭西と云ふ國が、、、つかつ、、てゐた土臺は革命によつて破壞されてしまつたものです、ですから、その土臺が出來る迄は 安定がありよう筈があり

ません。國家の土臺は科學の力や哲學の力で人爲的に造れるものではない。要するに發生するものです。故に或る程度の年限が必要です。丁度、樹木の成長を待つようなものです。順當に行つても相當の時日を要します。その成長を待つ間は佛蘭西國には土臺がないのですから、一寸したことにも動搖するのは止むを得ません。とは云へ、その動搖にもかゝはらずどうかこうか佛蘭西が維持されて行くのは佛蘭西人の愛國心が盛んなことゝ佛蘭西人の性質が緻密であり勤勉であるからです。一言で云へば、非常に敏感であるからです。佛蘭西人の此の敏感は或る場合には非常に神經質になつて國際關係を危くする場合もあります けれども、土臺のない國家がいろ〳〵な突飛な思想や宣傳になやまされながらも國家を維持して行く處に佛蘭西の强みもあれば望みもありますが要するに佛蘭西を維持してゐるものは佛蘭西人の愛國心です。

此の三國に對照して我が國を眺むるならば此の三國の特長を我が國は皆少しづゝ持つてゐます。けれども、英國と同じく日本には日本特有の既成の社會秩序があります。所謂日本帝國の精神があります。これはいろ〳〵な言葉で云ひ現はされてゐます。たとへば皇室中心主義とか、愛國心とか大和だましいとか。が、要するにこれは日本の社會秩序とその秩序を維持しようとする努力にすぎ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ないものです。で、我が日本は英獨佛の三國にかんがみてのつとるべき、又、參考にすべき點は明らかであります。が、日本には日本、社會秩序があると云ふ事實を無視し、この精神の發達をさまたげるものは日本人にして日本を知らず、日本の歴史を讀んでその意義を悟らず、外國の一部の野心家の手先きとなつて、國家を危機に陷れ外國の奴隷にならうとするものです。

化粧術教育化の提唱

私共人間は目に觸るゝ限りのものゝ美化を希望して止みません。資力の許す限りに於て、家を飾り、庭を工夫し、出ても、道路、公園、及び、建築物等が美化されてゐることを希望します。

ですから、食物にしても、食膳に上らされるものは先づ第一に目を喜ばせるように美しくし第二ににほいであり、味は第三に位ひするのが料理の法則であると云はれてゐます。

衣食住の凡ての點に於て、美を享樂しようと望んで止まないそれが本能ですから人間が自分自身を美化しようとする慾望を持つてゐるのは當然であり、又それは正當であります。

自己を美化したいと云ふ慾望は當然であり正當でありますが、併し、それが合理の範圍を離れて、全く不合理に脱線してしまつた時にそれは誠に醜い、のみならず、非常に不經濟になりますので、私共は長い以前から、女學校は勿論のこと、小學校に於ても化粧術を教授せよと云ふ意見を持つて居ります。

『化粧をするな、身を飾るな。』―と女學校は勿論のこと小學校に於ても女生徒に訓戒してうむことを知らないと云ふのが我が國教育界の一般の現狀でありますが、併し、それによつて我が國女性が化粧を廢すかと云ふと、事實は全くその正反對ですります。

その理由は人は生れながらに美を好む本能を持つてゐるからです。

美化したいと云ふ本能を學生である時代には全然壓迫されて居つて、學校を出るや否や、その壓迫が除去されますが、併しその美化に付ての訓練が全く缺けてゐるし、美の標準も理解して居りませんので、その下手なことは甚だしく美化が却つて醜化となり、且つ、莫大な不經濟を敢へてしてゐるのです。

或る美容術師のお客には女學生が多いと云ふことを聞いたことがありますが、學生の身分としては全く不當に高い金を拂つて、そして、自分の顏や容姿には全然似合はない結髮や化粧をほどこされて得々としてゐる處は、憐れにも亦滑稽です。

そして、それは皆長い學校生活の間に美的本能を抑壓されてゐた結果です。唯、非常に手をかけて變てこに毛髮をひねくりまはしたり、コテ〳〵白粉を塗りさへすれば美しいと思ふその幼稚な美的觀念は本當に情けないと思ひます。

そして、それは文學及び哲學が實際生活の實際利益から離れて行つて實際生活をかへりみなくなつて空想的に奇想的になつたと同じように、自己と云ふものを忘れて空想的に奇想的になつた結果であらうと思ひます。

けれども、もし、まだ小學校へ行く頃から、こう云ふかつこうの人はこう云ふ着物が似合ふこう云ふ皮膚の人はこう云ふものを使用して皮膚を養ふと美しくなると云ふように敎へられるならば、合理的に美化する方法を覺へますから

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

今日度々見るような化物のように化粧した若い婦人を見なくなるだらうと思ひます。

今日、美容術師の手にかゝると云ふことは、先づ大體の健全な家庭の人々の目には異様に映ります。何となくずるつたい生活者であるかのように考へられてゐます。

美化すると云ふことは悪いことではないにも拘らず、人にさう思はせるのは、又、さう思はせる理由があるからです。本當の美化ではなく俗悪の所謂美化則ち醜化でありますから心ある人をして眉をひそましむるのです。處で、それが一般若い婦人達の要求する處であり、そしてその要求に應じて生れた美容術師であるならば私達がさう云ふ人達に本當の意味の高尚な美容術を要求するのが既でに無理であるのかも知れません。

教育者がどんなに壓迫しようとしても美化したいと云ふ欲望は斷じて消滅するものではなく又、その欲望は正當に導かれるならば善いものであるのですから、今後の美容術師がもし美の教育者の立場に立つて學校で教へて足りない處を補充して人間美の發揚に資する考へを持つようになるならば美容術師の位置はグツと高くなり、社會の尊敬を受けるようになるでせう。

一般婦人も、亦、持つて生れた美化を好む本能を相當に教育されるならば化粧品を一つ買ふにも、反物一反買ふにも相當に頭を働かせて合理的でないものは使用しないようになりますから、製造者の方でも餘まり無茶なものを造つて暴利をむさぼるようなことをしなくなり、產業界の最も問題となり易い贅澤品の健全な合理化となるに相違ありません。教育家諸士の御一考を煩したいと思ひます

(この一文は「愛國婦人」九月號に書いた「美學と美容術」の一部分です。詳細に讀まうと思し召す方は愛國婦人を御讀み下さいますよう御願ひ致します。)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

編輯の後

今年の暑氣は例年のようには烈しくないとお天氣博士は新聞に發表して居りますが、それでも、ひろ下りの暑さは耐へがたいような心持ちが致します。本誌愛讀者の皆樣は如何御過し遊ばしますか、御健勝にお在しますことをかげながら偏に祈り上げ居ります。

今年の春から引きとつて養敎育して居ります亡兄の遺女兒が片親なる母を慕ふ心が切であらうと察しまして、學校の御休み中を利用し、その子供を母の手許へ送りかたぐ私は父母及び家兄の墓参をしようとしてツイ先頃田舎へ參りました。此の世に生を受けるとから親しみつゞけてゐた父母及び家兄のゐない生家は實に空虛其のものでありました。淋しさに痛む心をどうすることも出來ませんでした。

とは云へ、其處には、また、兄嫁の膝を慕ふ兄の幼遺兒、並びに、甥の子供等がウヨ／＼あつて其れが遠來の客なる私を興味ある目を輝して取り卷いてゐました。私はそれ等の子供等をツク／＼眺めずには居られませんでした。此處に父母及び兄の生命の延長、そのカタワレがゐる。父母及び兄を失つた心の空所がこの子供等によつて滿されるものであるかどうかと云ふことを考へずには居られませんでした。

確かに、それ等の子供等は自分の心の空所を幾分滿たし得るものであるに相違ありません。けれども、それは或る程度迄であつて決して其の空所を一杯にするものではない。そして今後何年かの後にそれ等の子供が其の空所を滿たすようになるかどうかは一ッにかゝつて其の子等に對する私の態度にあらうと私は考へて居ります。

本誌臨時定價表

一册	金十錢	送料五厘
六册	前金五十五錢	（送料共）
十二册	前金壹圓	（送料共）

■誌代及郵税は前金の事■御送金の際は振替貯金東京五三六八八番に御振込みのこと■郵券代用は五厘切手にて一割增■廣告は御照會次第御相談いたします

大正十四年八月廿三日印刷納本
大正十四年九月一日發行

東京市四谷區南伊賀町四一
編輯兼發行人　山田嘉吉

東京市牛込區山吹町一八九
印刷人　大杉亟次郎

東京市四谷區南伊賀町四一
發行所　婦人と新社會
振替東京五三六八八番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN